

公立尾陽病院を
より知っていただくために…

胃腸は

心の鏡

内科 松本 一明



負けが込んでいるチームの監督は胃が痛く、粘膜が赤く炎症を起こしていたり、受験が近くなると大腸炎の学生は一気に下痢がひどくなったりします。

このように、胃腸の調子は心のありさまととても深くかわっています。消化器の病気の80%はそうだという説もあるほどです。

結腸癌の患者さん数千人について詳しく調べてみると、ほとんどの方が2年以内に大きなストレスにさらされたことがあるという論文もあります。

私の経験したこんな例もあります。ある中年の女性が胃かいように穴が開いて腹膜炎になり、救急車で運ばれてきました。何とかやりくりして資金を集め、さんざん苦労してやっとのこと夢が叶い、

明日小さなお店の開店を迎えるという日の出来事でした。手術台の上でも「こんなところで手術を受けておれない、死んでも帰る」と我々を困らせました。我々もその気持ち痛いほど分かりました。しかし、彼女が治って帰ってみると、友人や善意の方々によつてちゃんとお店は開店し、とても繁盛していました。「こんなことなら全部しよいこんで自分の胃袋だけに痛い思いをさせる必要はまるでなかったんだね」と彼女を交えて笑ったものでした。皆さんも似たような話を聞いたことはありませんか。これから新年度を迎え、花見・歓送迎会等、胃腸を酷使される機会が増えます。仕事・勉強のストレスとダブルで痛めつけないように気を付けてください。

新年度から心機一転、体を鍛えることも良いことです。が、少し立ち止まって胃腸が喜ぶように、心にも安らかな栄養を与えてください。

問い合わせ先

公立尾陽病院
〒490-1111

甚目寺町大字甚目寺字

山ノ浦148番地

・問い合わせ時間

午前8時30分

午後5時15分

※土日・祝日は除く

☎(444)0050

※医療看護の相談に対するお問い合わせは、内線211の医療看護相談室までお願いします。

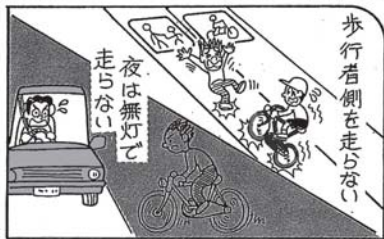
(FAX) (444)0064

HP <http://www.biyoc-hosp.jp/>

交通安全まんが

みどりちゃん

沢村ツトム



春の交通安全県民運動

4月6日(月)～15日(水)

新しい年度を迎え、真新しいランドセルを背に元気な姿で登校する新入生や、新社会人となった若者のフレッシュな姿をたくさん見掛けるようになりました。一方、通学や通勤で、不慣れた環境の下にあることから、交通事故の発生が心配されます。

また、この時期は気候もよくなり、高齢者が朝夕の散歩などで外出する機会が増えるとともに、歓送迎会や花見のシーズンと重なり、飲酒の機会が増えることなどから、高齢者や飲酒運転による交通事故の発生も心配されます。

重点

□ 子どもや高齢者を交通事故から守ろう

□ すべての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう

□ 自転車の安全利用を進めよう

□ 飲酒運転を根絶しよう